

Press Release - November 13, 2007
INSIDERS EXPOSE REASONS FOR SECRECY

報道発表 - 2007年11月13日
複数の部内者が秘密の理由を暴露

([公開プロジェクトのウェブサイトより](#))

公開プロジェクト (ディスクロージャー・プロジェクト www.DisclosureProject.org) 責任者のスティーブン・M・グリア博士は、複数の政府部内者が UFO に関係する闇の、高度に機密化された計画が存在することを暴露したと報告する。

秘密の理由は単純である：高度に機密化された計画の慣性、秘密を強化するために行なわれた過去の不法行為に対するきまり悪さ、そして不可解な UFO 物体の背後にあるエネルギーと推進システムがこれまで研究され、完全に解明されたという事実である。この公開は石油、ガス、石炭、および他の従来型のエネルギー形態に終止符を打ち、それにより、現在の石油に基盤を持つ地政学的秩序と経済を終わらせることになるだろう。真実は、我々の税金がこの事柄を研究するために数十年間使われ、今がその投資の配当を受け取る時だということである。この事実の全面公開は、人類が地球温暖化や石油の必要性を伴わずに、持続可能な文明に到達することを可能にするだろう。

最近の合衆国政府に対する UFO 調査の要求は、このような調査が現在も進行中の、高度に区画化された最高機密であるという事実を考慮に入れていなかった。

グリア博士は次のように述べる：“すでに 1993 年に、私が CIA 長官のジェームズ・ウルジーに UFO 問題について背景説明を行なったとき、クリントン大統領とウルジー氏が接近を拒否された、進行中の秘密計画があることを知った。当時バード上院議員 (ウェストバージニア州-民主党) が議長をしていた上院歳出委員会の首席弁護士が直接私に語ったところでは、年間 1 千億ドル以上の資金が UFO 計画を含むいわゆる ‘闇の’ プロジェクトに流れていた。しかし最高機密取扱許可と召喚権限をもってしても、秘密のベールに分け入ることはできなかった”

その後で、グリア博士は慈善家ローランス・ロックフェラーと協力して、クリントン大統領とヒラリー・クリントンに詳細な背景説明資料を渡した。彼らはロックフェラー氏の JY 牧場に滞在していたときにそれを読んだ。(その背景説明資料は <http://www.DisclosureProject.org/access.htm> にある)

グリア博士は “クリントン夫妻は問題をこれ以上公開することを拒んだ。CIA 長官ウルジーは、彼らが管理も接近もできない計画を公開することはできないと正直に述べた。ウルジー氏とクリントン夫妻は、秘密とその背後にある権力に動揺していた” と報告する。

そのとき以来、公開プロジェクトは数千の合衆国公文書、またコード名と番号を含む、UFO を扱う計画についての最高機密取扱許可を持つ軍と企業の証人たちを見出してきた。このような活動は無法であり、議会監視委員会の力が及ばないところにある。

さらに詳しい情報、またはグリア博士へのインタビューの希望は、こちらの窓口まで。

<http://www.DisclosureProject.org>

註記：ローランス・ロックフェラーとクリントン夫妻に言及している二つの段落は、我々がそれを報道発表サービス - PRNewswire.com を通じて送信したとき、この報道発表から削除せざるを得なかった。というのは、彼らはその言及が含まれた最初の報道資料を送信することを拒否したからである。それは彼らの組織で指揮系統の上層部に回付され、彼らによって検閲された。もしあなたが、我々には自由な報道機関があると考えているなら、考え直した方がよい。これは出口そのものでさえない、その入り口で検閲されたのである！

(訳： 廣瀬 保雄)